



2025年度 第1四半期 決算説明資料

証券コード：6908
2025年8月4日

イリソ電子工業株式会社
IRISO ELECTRONICS CO.,LTD.

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します



- 1. 2025年度第1四半期 業績概要
- 2. 2025年度 業績見通し
- 3. トピックス
- 4. Appendix

1. 2025年度1Q決算発表のポイント

25年度1Q
売上高

151億円

前年同期比
+21.0%

25年度1Q
営業利益

10.7億円

前年同期比
+462.0%

25年度1Q
営業利益率

7.1%

前年同期比
+5.5pts

25年度1Q
EBITDA率

17.3%

前年同期比
+1.5pts

※EBITDA率：（営業利益＋減価償却費）/売上高

売上高

- ・モビリティ市場のインフォテインメント分野における高速伝送対応可動BtoBコネクタの需要増と、パワートレイン分野における中国地域の好調さの継続により、前期1Q比、想定比ともに増収
- ・一部顧客においてアメリカの関税政策を見据えた前倒し発注の一過性影響あり（約1億円）

営業利益

- ・新ERP関連費用が発生した前期1Q比で、大幅増益
- ・営業利益率は、材料費高騰や秋田新工場への先行投資を、経費削減と構造改革効果でカバーし、7.1%を確保

2Qは1Q比で原価低減効果などにより利益増。上期で売上高290億円、営業利益率9.0%を計画



2. 2025年度1Q 連結決算の概要

単位：百万円

	2024年度 1Q	構成比	2025年度 1Q	構成比	増減額	増減率
売上高	12,534	100.0%	15,163	100.0%	+ 2,629	+ 21.0%
モビリティ	10,944	87.3%	12,927	85.2%	+ 1,982	+ 18.1%
コンシューマー	1,042	8.3%	1,179	7.8%	+ 137	+ 13.2%
インダストリアル	547	4.4%	1,056	7.0%	+ 509	+ 93.0%
売上原価	9,259	73.9%	10,920	72.0%	+ 1,661	+ 17.9%
販売管理費	3,084	24.6%	3,173	20.9%	+ 88	+ 2.9%
営業利益	190	1.5%	1,069	7.1%	+ 879	+ 462.0%
税引前利益	646	5.2%	1,170	7.7%	+ 523	+ 80.9%
四半期純利益	371	3.0%	510	3.4%	+ 139	+ 37.4%
EPS	15.83円		23.90円			
為替レート	ドル：156.53円		145.19円		▲11.34円	▲7.2%
期中平均	ユーロ：168.37円		164.37円		▲4.00円	▲2.4%
	元：21.53円		20.10円		▲1.43円	▲6.6%

【ご参考】ERP切り替えによる売上前倒し影響除き

売上高	13,234	100.0%	15,163	100.0%	+ 1,929	+ 14.6%
モビリティ	11,644	88.4%	12,927	86.4%	+ 1,282	+ 11.0%
営業利益	519	4.1%	1,069	7.1%	+ 550	+ 106.0%



3. 売上・利益変動要因（2024年度1Q比）

単位：百万円

	売上高	営業利益	営業 利益率	要因
2024年度1Q 実績	12,534	190	1.5%	
為替影響	▲742	+0		USD: 156.53円→145.19円(-7%) EUR: 168.37円→164.37円(-2%) CNY: 21.53円→ 20.10円(-7%)
物量増減	+3,372	+1,425		
材料費増減		▲460		素材市況価格高騰
固定費増減		▲290		・増加要因：人員・経費抑制、構造改革効果 ・減少要因：秋田工場 稼働開始。賃上、エネルギー費
原価低減他		+208		・増加要因：原価低減 ・減少要因：売価ダウン、貸倒引当金他
変動要因 計	+2,629	+879		
2025年度1Q 実績	15,163	1,069	7.1%	



4. 財務状況

単位：百万円

	2024年度	2025年度 1Q	前年度末比
流動資産	52,209	52,752	+ 542
現金及び預金	24,314	24,366	+ 52
売掛債権	12,789	14,130	+ 1,341
棚卸資産	13,482	12,653	▲ 829
固定資産	39,161	38,130	▲ 1,030
資産合計	91,370	90,882	▲ 488
負債合計	20,173	23,146	+ 2,972
買掛債務	4,689	5,096	+ 406
借入金	9,322	12,083	+ 2,761
純資産合計	71,196	67,736	▲ 3,460
株主資本計	57,398	55,621	▲ 1,776
自己資本比率	77.3%	74.5%	▲ 2.8pts



5. 地域別・製品別売上高

地域別

単位：百万円

	2024年度					2025年度		1Q 前年同期比	
	1Q	構成比	2Q	3Q	4Q	1Q	構成比	増減額	増減率
日本	1,810	14.4%	2,336	2,426	2,458	2,567	16.9%	+757	+41.8%
中華・韓国圏	5,105	40.7%	6,275	7,469	6,065	7,257	47.9%	+2,151	+42.1%
アメリカ	1,598	12.8%	1,612	1,188	1,390	1,097	7.2%	▲500	▲31.3%
欧州	2,305	18.4%	2,418	2,023	2,426	2,440	16.1%	+135	+5.9%
ASEAN	1,714	13.7%	1,981	1,901	1,821	1,801	11.9%	+86	+5.0%
合計	12,534	100.0%	14,624	15,009	14,163	15,163	100.0%	+2,629	+21.0%
【ご参考】 ERP影響除く	13,234		14,624	15,009	14,163	15,163		+1,929	+14.6%

製品別

単位：百万円

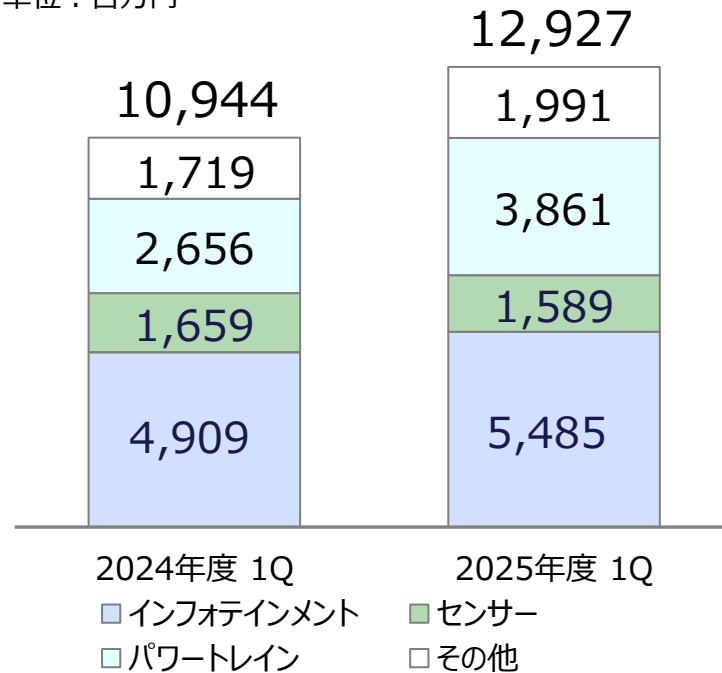
	2024年度					2025年度		1Q 前年同期比	
	1Q	構成比	2Q	3Q	4Q	1Q	構成比	増減額	増減率
BtoB	5,333	42.6%	5,918	5,989	5,965	6,377	42.1%	+1,044	+19.6%
FPC	2,649	21.1%	3,186	3,032	2,613	2,975	19.6%	+326	+12.3%
車載IF/WtoB	3,630	29.0%	4,457	5,025	4,595	4,915	32.4%	+1,285	+35.4%
ピンヘッダー	553	4.4%	575	558	508	497	3.3%	▲56	▲10.1%
その他	367	2.9%	486	404	480	397	2.6%	+30	+8.2%
合計	12,534	100.0%	14,624	15,009	14,163	15,163	100.0%	+2,629	+21.0%



6. 市場別売上：モビリティ

前年比+1,982百万円 (+18.1%)

単位：百万円



インフォテインメント

- ・前年1Q比: +11.7%、前年4Q比: +2.1%
- ・液晶パネルやIVI用、ECU用の高速伝送対応可動BtoBコネクタが堅調

センサー

- ・前年1Q比: ▲4.3%、前年4Q比: ▲2.0%
- ・一部の機器での構造変化によりレーダー向けが減少
- ・カメラ向けは自動車生産台数の影響を受けるも、顧客拡大により売上維持

パワートレイン

- ・前年1Q比: +45.4%、前年4Q比: +20.1%
- ・中国での需要が堅調でQ単独での過去最高売上を更新
- ・BMS(Battery Management System)用の車載IF/WtoBコネクタ、インバーター用の“Z-Move™”が増加

※Z-Move™：イリソ独自の耐振動コネクタ技術

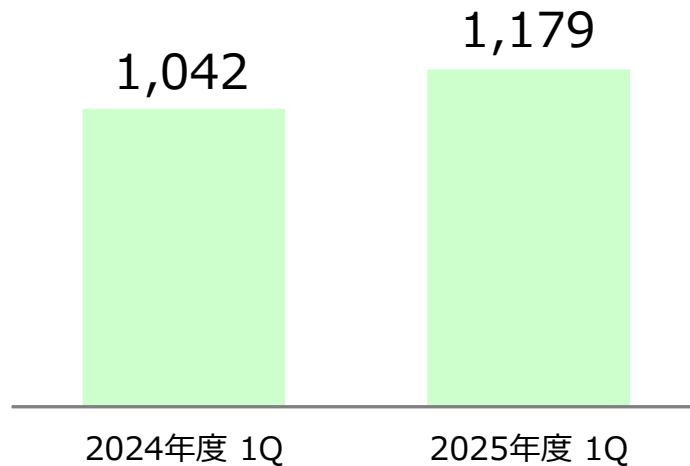
	2024年度				2025年度	YoY	QoQ
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
インフォテインメント	4,909	5,583	5,366	5,372	5,485	+11.7%	+2.1%
センサー	1,659	1,672	1,755	1,622	1,589	▲4.3%	▲2.0%
パワートレイン	2,656	3,288	3,725	3,215	3,861	+45.4%	+20.1%
その他	1,719	2,088	1,943	1,968	1,991	+15.8%	+1.1%
合計	10,944	12,632	12,791	12,179	12,927	+18.1%	+6.1%
【ご参考】ERP影響除き	11,644	12,632	12,791	12,179	12,927	+11.0%	+6.1%



7. 市場別売上：コンシューマー・インダストリアル

コンシューマー市場：前年比+137百万円 (+13.2%)

単位：百万円

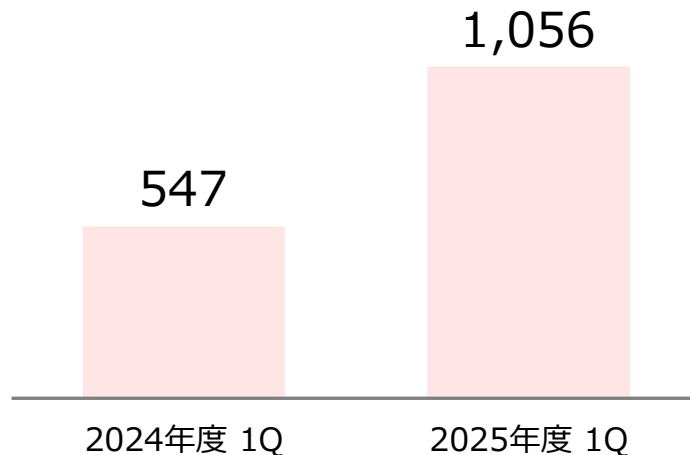


- ・前年1Q比：プリンター、デジカメ向けが増加
- ・前年4Q比：アメリカの関税政策を見据えた前倒し発注で、ゲーム機向けが増加

2024年度				2025年度	YoY	QoQ
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
1,042	1,319	1,227	1,034	1,179	+13.2%	+14.0%

インダストリアル市場：前年比+509百万円 (+93.0%)

単位：百万円



- ・FA関連機器向けでは、一部機器・顧客が回復傾向
- ・前年3Qから新たに獲得したエネルギー・マネジメント分野向けビジネスは堅調に推移

2024年度				2024年度	YoY	QoQ
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
547	673	990	949	1,056	+93.0%	+11.3%



1. 2025年度第1四半期 業績概要
-  2. 2025年度 業績見通し
3. トピックス
4. Appendix



1. 2025年度 業績予想

- ・1Q決算を踏まえ上期予想を発表。通期予想は、現状は市況環境見極めのため据え置き
- ・アメリカ関税政策の直接影響は軽微。間接影響は、北米での自動車需要減による通期売上減リスク：約10億円
- ・ただし、1Qが想定比で上振れて推移しており、下方修正はせず

単位：百万円

	2024年度		2025年度		前年比				1Q進捗率
	上期	通期	上期予想	通期予想	対上期		対通期		
売上高	27,159	56,332	29,000	55,000	+ 1,840	+ 6.8%	▲ 1,332	▲ 2.4%	27.6%
売上原価率	69.6%	68.2%	69.4%	67.5%		▲ 0.2pts		▲ 0.7pts	
営業利益	2,119	5,307	2,600	5,500	+ 480	+ 22.7%	+ 192	+ 3.6%	19.5%
営業利益率	7.8%	9.4%	9.0%	10.0%		+ 1.2pts		+ 0.6pts	
税引前利益	1,492	3,217	2,800	5,200	+ 1,307	+ 87.6%	+ 1,982	+ 61.6%	22.5%
当期純利益	1,089	2,662	2,000	3,900	+ 910	+ 83.6%	+ 1,237	+ 46.5%	13.1%
EPS	47.10円	118.25円	95.33円	188.65円					
為替レート	ドル：152.30円	152.48円	145.11円	145.00円	▲ 7.19円	▲ 4.7%	▲ 7.48円	▲ 4.9%	
期中平均	ユーロ：165.46円	163.62円	163.35円	162.00円	▲ 2.11円	▲ 1.3%	▲ 1.62円	▲ 1.0%	
	元：21.15円	21.10円	20.06円	20.00円	▲ 1.09円	▲ 5.2%	▲ 1.10円	▲ 5.2%	
設備投資	5,036	8,693	3,300	6,300	▲ 1,736	-	▲ 2,393	-	25.5%
減価償却	3,498	7,092	3,100	7,200	▲ 398	-	+ 107	-	21.5%
配当	-	100円	-	110円	-	-	+ 10円	-	



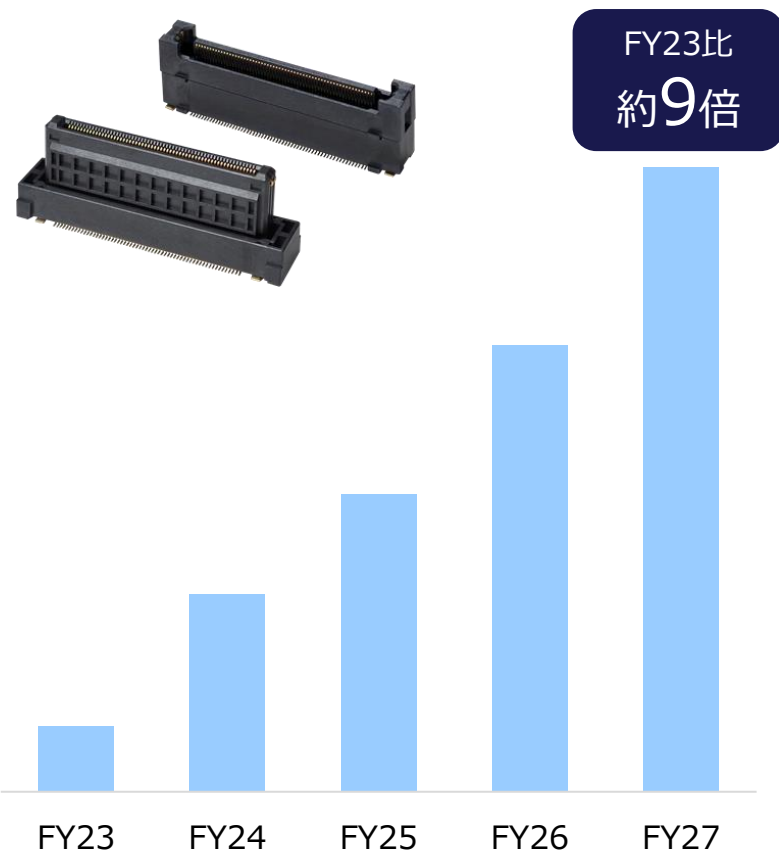
2. 2025年度 市場別売上高計画

単位：百万円

	2024年度		2025年度					1Q 進捗率
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比		主な要因	
					為替込み	為替除く		
モビリティ計	48,548	86.2%	47,650	86.6%	▲1.9%	+2.1%	グローバルでの自動車生産台数は前年比減少を想定	27.1%
インフォテインメント	21,231	37.7%	21,900	39.8%	+3.1%	+7.1%	高速伝送対応可動BtoBコネクタの増加	25.0%
センサー	6,710	11.9%	6,100	11.1%	▲9.1%	▲5.3%	レーダー向けで減少、カメラ向けは中国向けが増加	26.1%
パワートレイン	12,886	22.9%	12,400	22.5%	▲3.8%	+0.1%	中国で三次元可動BtoBコネクタZ-Move中心に搭載増	31.1%
その他	7,719	13.7%	7,250	13.2%	▲6.1%	▲1.9%		27.5%
コンシューマー	4,623	8.2%	3,900	7.1%	▲15.6%	▲11.5%	ゲーム機向けの減少	30.2%
インダストリアル	3,160	5.6%	3,450	6.3%	+9.2%	+12.1%	エネルギーマネジメント分野向けの増加	30.6%
合計	56,322	100.0%	55,000	100.0%	▲2.4%	+1.6%		27.6%

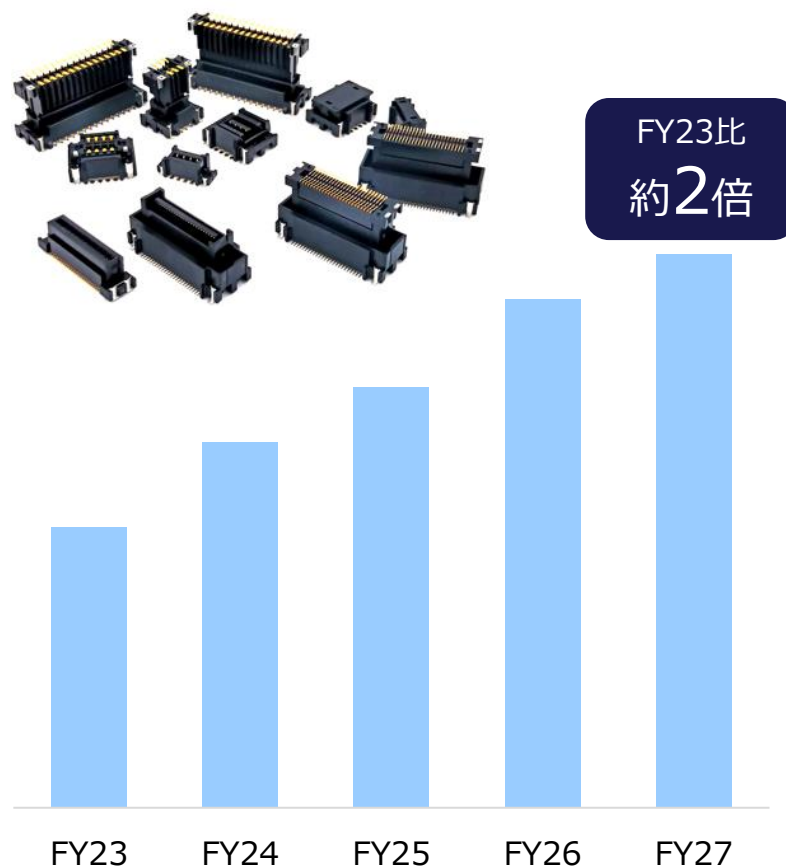
3. 戦略製品の売上トレンド

高速伝送対応可動BtoBコネクタ



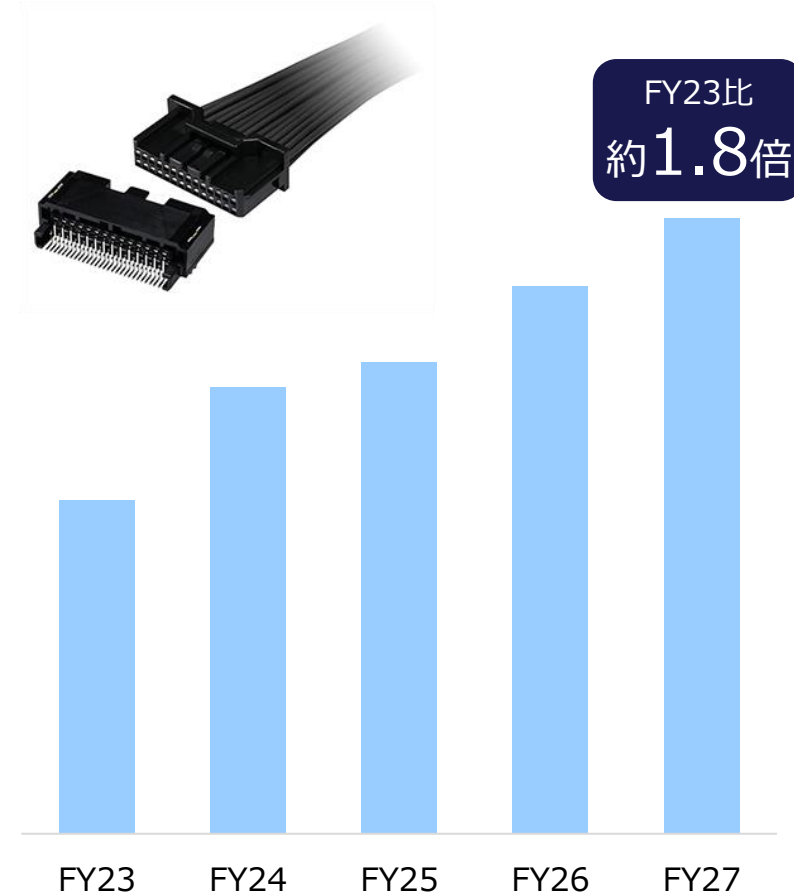
統合ECU化を見据え、ラインナップ拡充とソリューションの強化で更なる拡大を狙う

Z-Move™



信頼性ニーズの増加とパワートレイン機器での搭載実績から引き合い増加中

Wire to Boardコネクタ



堅調なパワートレイン機器向け以外に、インダストリアル市場でのエネルギーマネジメント機器向けでも増加見込み



1. 2025年度第1四半期 業績概要
2. 2025年度 業績見通し
3. トピックス
4. Appendix



1. トピックス①

「Unit-able」コンセプトが、パワートレイン機器に採用決定。25年度下期から納入開始 -イリソの強みであるZ-Move™技術を活用した、インターフェイスコネクタの新接続方式-

- ・メリット①：多品種少量生産品の自動化を実現。
設計や生産の工数削減だけでなく、トータルコストの削減にも寄与
- ・メリット②：接触信頼性に優れ、過酷な環境下で使用されるモビリティ機器で搭載可能
- ・構造：基板側ソケット：Z-Move™、インターフェイスコネクタ：中継タイプ



「人とするまのテクノロジー展 2025」に出展、統合ECU向けコネクタコンセプトを発表

- ・2025年5月21日～23日に横浜で、7月16日～7月18日に愛知で開催された「人とするまのテクノロジー展 2025」に出展
- ・パワートレイン機器と統合ECU 周辺で使用可能な新製品をご紹介
- ・「統合ECU向けコネクタコンセプト」を発表 (<https://www.irisoele.com/jp/news/n20250520/>)
 - ・拡張性を持った高速伝送車載用インターフェイスコネクタ (Scalableコネクタ)
 - ・32Gbps対応フローティングコネクタ (10163シリーズ)
 - ・大電流対応の小型フローティングコネクタ (10149シリーズ)





SBTi (Science Based Targets initiative) の認定を取得

- ・イリソグループのバリューチェーン全体の温室効果ガス（Scope1、2、3）排出削減目標について、国際的なイニシアチブ「SBTi (Science Based Targets initiative)」から、新たに「ネットゼロ目標」としての認定を取得
- ・SBT認定を受けた、イリソグループの温室効果ガス排出削減目標：



Scope	基準年	目標年	概要
1、2	2023年度	2030年度	排出量を42%削減
3（カテゴリー1）	2023年度	2030年度	排出量を25%削減



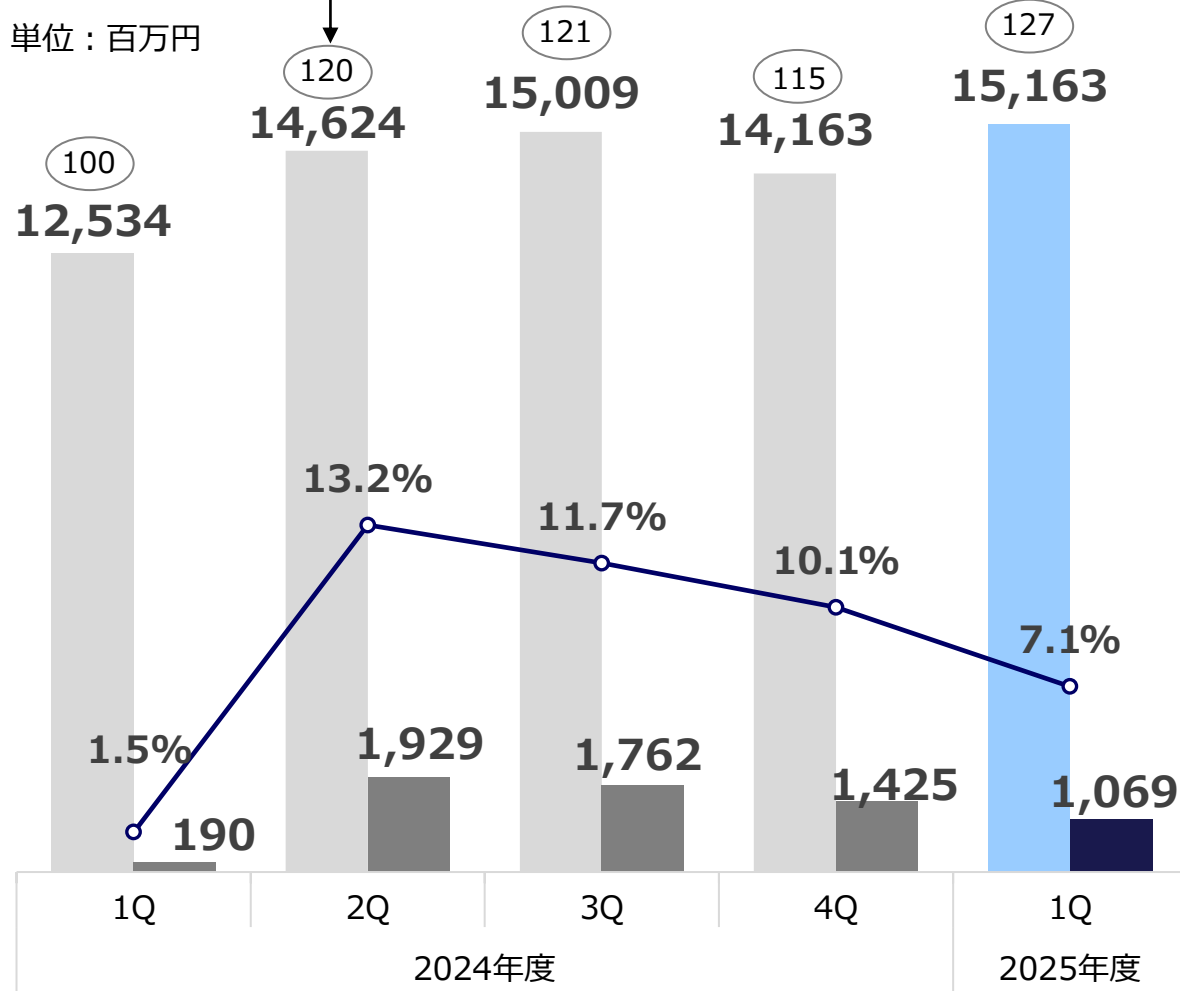
1. 2025年度第1四半期 業績概要
2. 2025年度 業績見通し
3. トピックス
-  4. Appendix



1. 四半期別売上高・営業利益推移

除く 為替影響、24年度1Qを100とした指数

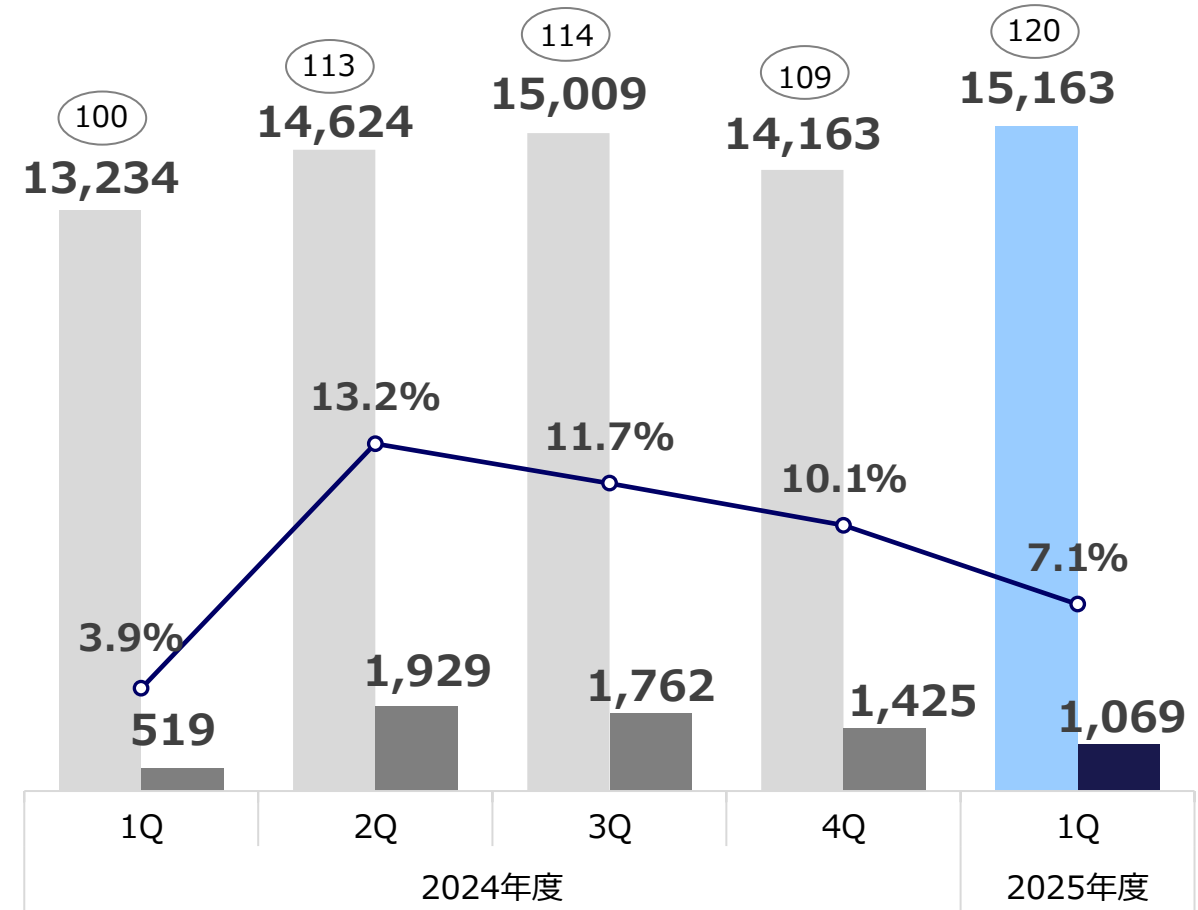
単位：百万円



売上高 営業利益 営業利益率

【ご参考】ERP切り替えによる売上前倒し影響除き
(23年度4Q←24年度1Q)

単位：百万円



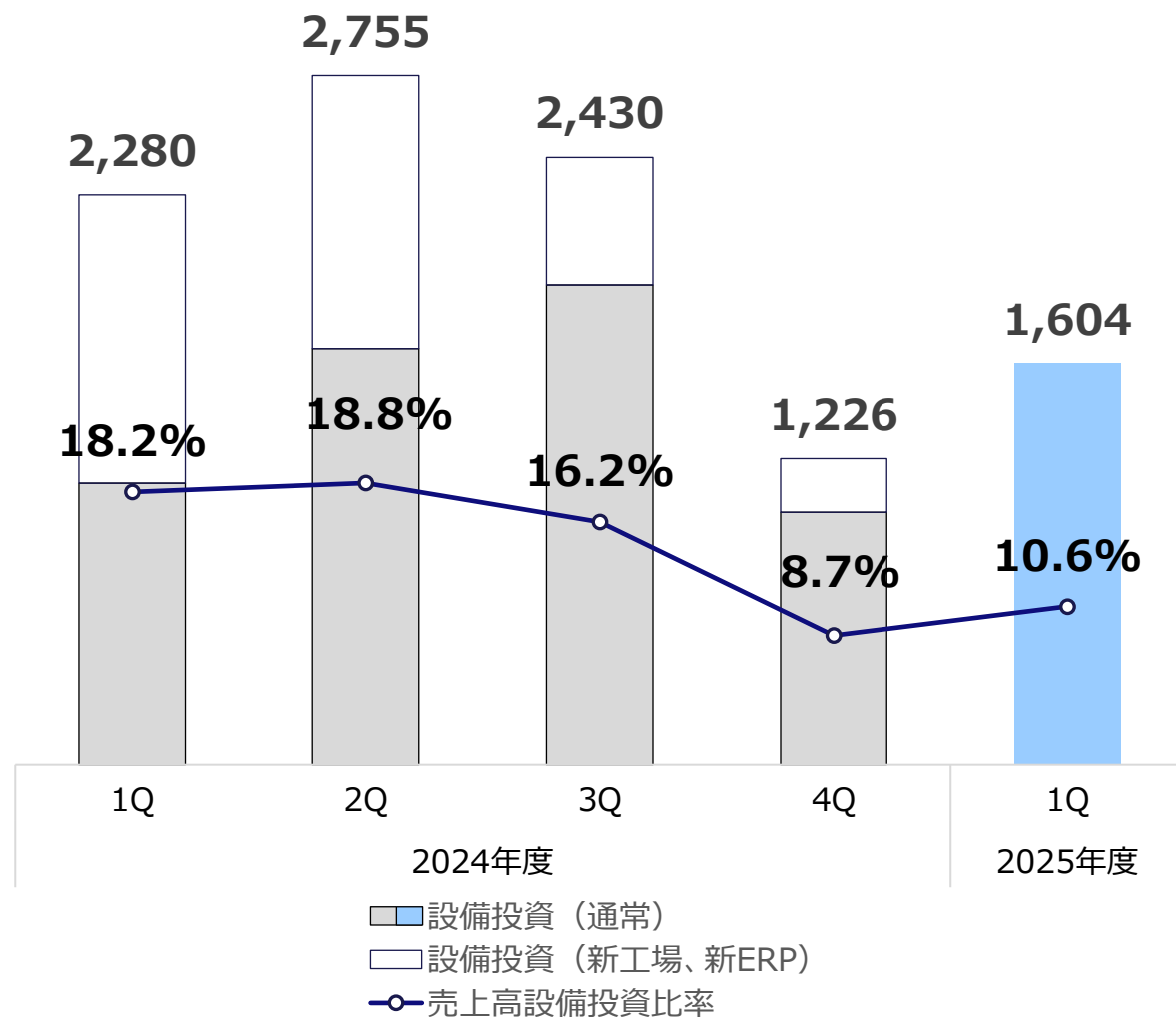
売上高 営業利益 営業利益率



2. 設備投資・減価償却費推移

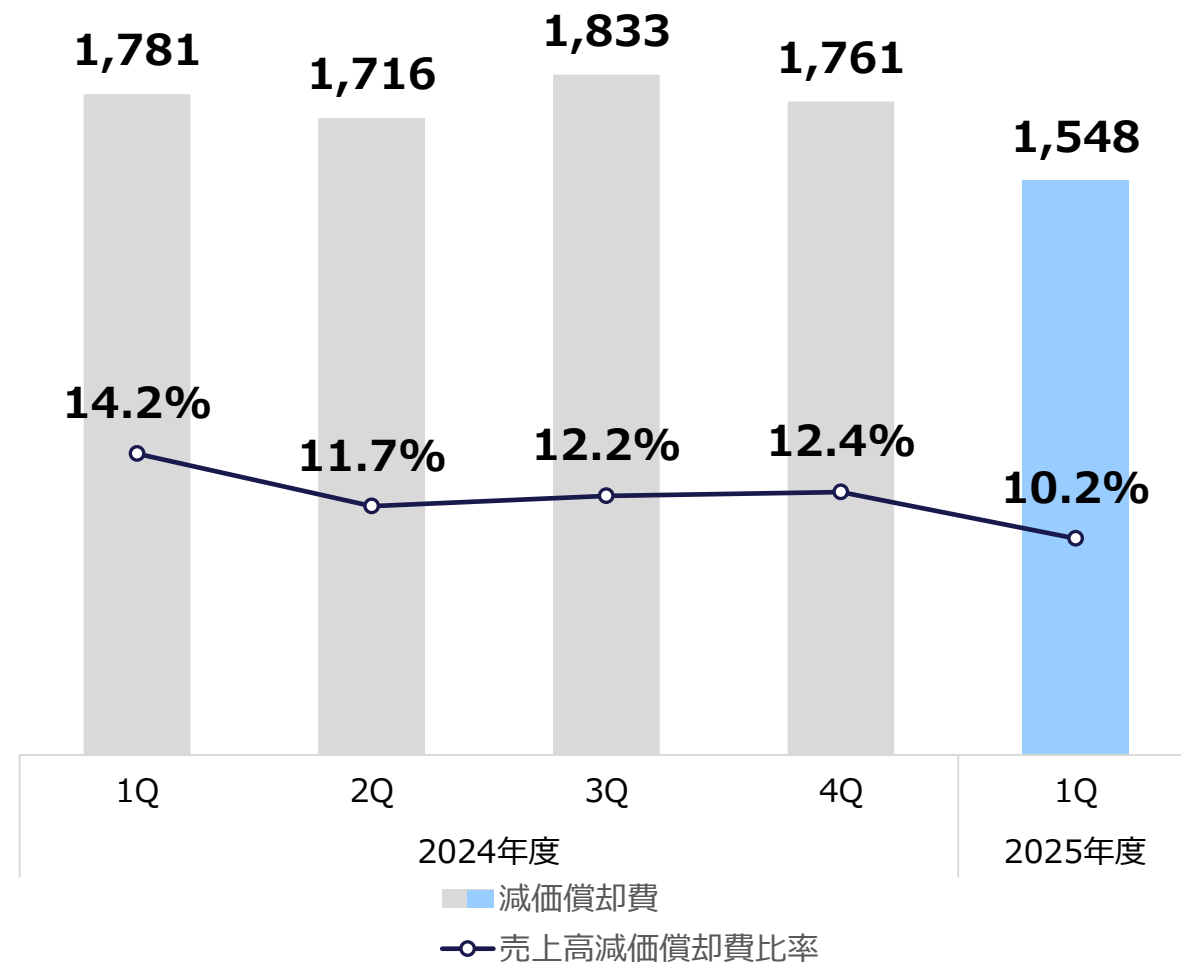
設備投資

単位：百万円



減価償却費

単位：百万円





会 社 名	:	イリソ電子工業株式会社
事 業 内 容	:	各種コネクタの製造・販売
設 立 年 月	:	1966年12月
社 員 数	:	2,936名(2025年3月31日現在)
資 本 金	:	5,640百万円(2025年3月31日現在)
本 社	:	神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営 業 拠 点 国 内 海 外	:	本社、福島県、愛知県、大阪府 シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国 中国(上海、大連、天津、蘇州、深圳、重慶)、台湾、インド
研 究 開 発	:	本社(イリソテクノロジーパーク)、川崎(生産技術センター)、岩手県(花巻工場)、 上海R&Dセンター
工 場	:	茨城県、秋田県、中国(上海、南通)、フィリピン(マニラ)、ベトナム(ハイフォン)

コネクタの種類

基板対基板コネクタ (BtoBコネクタ)

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ(ボードtoボードコネクタ)とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B (ビー・ツー・ビー)は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

FPC/FFCコネクタ

FPC基板(Flexible printed circuits)やFFCケーブル(Flexible flat cable)の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF(Zero insertion Force)タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

IFコネクタ

IFとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O(インプット／アウトプット)コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面(裏・表面)に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン(電導体)”をハウジング(樹脂材でできた絶縁体)で支えたプラグ(オス側)コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続(基板間接続)に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。



この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します
Together, surpassing expectations by empowering connections
to enrich society and delight people.